

- 問1 カカオ豆の生産と輸出に関する世界的な状況を説明した文として、正しいものはどれですか。統計上、コートジボワールは生産・輸出ともに世界1位ですが、ベルギーやオランダなどのヨーロッパ諸国も輸出上位に含まれていることを踏まえて答えなさい。（2022年 栃木県公立入試 類似）
- コートジボワールはカカオ豆をすべて自国内でチョコレートに加工してから輸出しているため、農産物ではなく工業製品としての輸出額が多い。
 - ベルギーやオランダは熱帯の気候を利用して大規模なプランテーションを自国内に保有しており、カカオ豆の生産量でも世界の上位に入っている。
 - コートジボワールなどの生産国は原料を供給する役割を担う一方、ベルギーなどは輸入したカカオを加工して再輸出する役割を担っている。
 - カカオ豆は鮮度の低下が激しいため、生産国であるコートジボワール国内で消費されるのが一般的であり、国際的な輸出はほとんど行われない。
- 問2 世界の海洋の分布と特徴について述べた次の文のうち、大西洋の説明として最も適切なものを選びなさい。（2023年 奈良県公立入試 類似）
- アフリカ大陸の東側に位置し、アジアとの交易において重要な役割を果たしている海洋である。
 - アフリカ大陸とヨーロッパ大陸の間に位置する、陸地に囲まれた内海である。
 - 日本列島の東側に広がり、世界で最も大きな面積を持つ海洋である。
 - アフリカ大陸の西側に位置し、アフリカ・ヨーロッパ・南北アメリカの各大陸に囲まれている海洋である。
- 問3 アフリカ大陸の西側に位置し、ナイジェリアなどの国々が面するギニア湾を含む広大な海洋があります。アフリカ大陸、ヨーロッパ大陸、および南北アメリカ大陸に囲まれた、この世界三大洋の一つに該当する名称を選びなさい。（2026年 埼玉県公立入試 類似）
- 北極海
 - 大西洋
 - 太平洋
 - インド洋
- 問4 輸出品目の内訳においてナイジェリアでは原油などの鉱石燃料が、エチオピアではコーヒーなどの農作物が大部分を占めています。このように特定の資源や農産物の輸出に依存する国々の経済において、成長を妨げる要因となりやすい課題として最も適切な説明はどれですか。（2024年 福岡県公立入試 類似）
- 長期的な国際協定によって価格が固定されているため、利益を増やすことが困難である。
 - 国際価格が需要や天候によって大きく変動するため、国家の収入が不安定になりやすい。
 - 国内での消費量が輸出量を上回るため、外貨を獲得する機会がほとんどない。
 - 先進工業国への輸出が制限されており、常に供給過剰の状態が続く。
- 問5 原油、鉄鉱石、コーヒー豆といった加工される前の産品は、国際的な需要や生産状況の変化を受けて、その取引価格が激しく上下する特徴があります。このような産品を指す名称と、それを輸出の柱とする国々が直面する状況の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2024年 福岡県公立入試 類似）
- 一次産品 — 国際的な需要が常に一定であるため、安定した経済成長ができる。
 - 一次産品 — 国際価格の変動により、輸出による収入が不安定になる。
 - 二次産品 — 天候の影響を強く受けるため、供給不足に陥りやすい。
 - 二次産品 — 加工技術の向上により、製品の付加価値が常に高まり続ける。
- 問6 エジプトなどで広く信仰されている宗教について、1日に5回聖地に向かって礼拝を行うことや、ラマダンと呼ばれる約1か月間の断食を行うといった生活上の決まりを持つ宗教として適切なものはどれか。（2023年 三重県公立入試 類似）
- イスラム教
 - ヒンドゥー教
 - 仏教
 - キリスト教
- 問7 アフリカ大陸西部の赤道付近に位置し、ギニア湾に面した地域で、外貨を獲得するための主要な輸出用作物として最も盛んに栽培されている農産物を選びなさい。（2016年 群馬県公立入試 類似）
- トウモロコシ
 - 茶
 - 小麦
 - カカオ
- 問8 エジプトの国境線は、山脈や河川などの自然の地形ではなく、緯線や経線に沿って定規で引いたような直線状になっている部分が多く見られます。このような「直線的な国境」が引かれることになった歴史的な背景として、最も適切な記述を選んでください。（2023年 福井県公立入試 類似）
- 砂漠地帯では砂嵐によって地形が変化しやすいため、測量が容易な緯線や経線を採用したため。
 - 独立後のアフリカ諸国が、民族や言語の分布を完全に無視して、あえて直線の境界を望んだため。
 - 古代文明の時代に、ピラミッドの建設計画に基づいて領土を区分したため。
 - かつてこの地域を支配していたヨーロッパの列強諸国が、植民地の境界を人為的に決定したため。
- 問9 世界地図において、アフリカ大陸の北東部に位置し、北側を地中海、東側を紅海に囲まれた地域に存在する国家の特徴について述べた文として、正しいものを選びなさい。（2019年 福島県公立入試 類似）
- 黄河の流域で古代文明が栄え、青銅器や甲骨文字が使われた。
 - インダス川の流域で古代文明が栄え、仏教やヒンドゥー教が誕生した。
 - ナイル川の流域で古代文明が栄え、太陽暦が発明された。
 - ティグリス川・ユーフラテス川の流域で古代文明が栄え、太陰暦が使われた。
- 問10 南アフリカ共和国が位置するアフリカ大陸の自然環境について、大陸の北東部を流れる世界最長の河川と、北西部の地中海沿いに位置する山脈の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2016年 大阪府公立入試 類似）
- アマゾン川とアンデス山脈
 - ライン川とアルプス山脈
 - ミシシッピ川とロッキー山脈
 - ナイル川とアトラス山脈
- 問11 アフリカのリビアのように、輸出全体の約8割を原油という特定の鉱産資源に依存している国では、国際的な原油価格の変動に伴って1人あたりGDPが大きく変動します。このように特定の資源の輸出に依存する国において、原油価格の下落が1人あたりGDPを大きく減少させる理由として、最も適切なものを1つ選びなさい。（2026年 宮崎県公立入試 類似）
- 原油の価格が下がると国内での原油消費量が激減し、国内のすべての産業活動が停止するから。
 - 原油価格が下落すると自国の通貨制度が即座に廃止され、国外との貿易取引が一切できなくなるから。
 - 鉱産資源の価格が下がると農業生産に回す資金が増加し、工業から一次産業へ急速に転換するから。
 - 国の主な収入源が原油の輸出であるため、原油の国際価格が下落すると国全体の経済規模や所得が縮小するから。
- 問12 地中海に面したアフリカ北西端の国チュニジアの国旗には、赤地に白丸が配置され、その中に赤色の三日月と星がデザインされています。このように国旗に三日月と星が取り入れられている背景として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 熊本県公立入試 類似）
- かつて支配を受けたヨーロッパ諸国で信仰されていたキリスト教の象徴だから。
 - チュニジアの主たる宗教であるイスラム教の伝統的な象徴だから。
 - 農業において月の満ち欠けを基準とする独自の暦を用いていたから。
 - 古代カルタゴ時代から伝わる仏教の聖なる図案だから。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 コートジボワールなどの生産国は原料を供給する役割を担う一方、ベルギーなどは輸入したカカオを加工して再輸出する役割を担っている。	カカオ豆の生産は熱帯気候のアフリカや東南アジアに集中していますが、統計上、生産上位ではないヨーロッパの国々が輸出上位に現れることがあります。これは、途上国が原料（一次産品）を輸出し、先進国がそれを輸入してチョコレートなどの高付加価値な製品に加工し、再び他国へ輸出するという「加工・再輸出」の仕組みがあるためです。コートジボワールなどでは、こうした加工による利益（付加価値）を自国で得るために、国内での加工産業の育成が課題となっています。
問2	答え 4 アフリカ大陸の西側に位置し、アフリカ・ヨーロッパ・南北アメリカの各大陸に囲まれている海洋である。	大西洋はアフリカ大陸の西側に位置する広大な海洋で、対岸には南北アメリカ大陸があり、北東方向にはヨーロッパ大陸が位置しています。アフリカ大陸の東側にあるのはインド洋、北側にあるのは地中海であり、世界最大の面積を持つのは太平洋です。地理的な位置関係を把握する際は、隣接する大陸との位置関係が重要な指標となります。
問3	答え 2 大西洋	アフリカ大陸の西側に広がる海洋は大西洋です。ナイジェリアなどの国々が面するギニア湾は大西洋の一部であり、この海域はヨーロッパや南北アメリカ大陸との間の海上交通において重要な役割を果たしています。アフリカ大陸の東側はインド洋、北側は地中海であることと区別して理解する必要があります。
問4	答え 2 国際価格が需要や天候によって大きく変動するため、国家の収入が不安定になりやすい。	特定の農産物や鉱物資源などの一次産品の輸出に依存する経済構造（モノカルチャー経済）では、国際価格の変動が国家財政に直結します。原油などの資源は世界情勢に、農作物は天候や作柄に価格が左右されやすく、価格が急落した際に外貨収入が激減し、経済が非常に不安定になるというリスクを抱えています。
問5	答え 2 一次産品 — 国際価格の変動により、輸出による収入が不安定になる。	天然資源や農産物は一次産品と呼ばれます。これらは工業製品と比較して価格の変動幅が大きく、国際価格の動きが輸出国の経済を左右します。発展途上国の中には特定の一次産品の輸出に頼らざるを得ない国も多く、価格の下落が経済危機に直結する不安定さが大きな課題となっています。
問6	答え 1 イスラム教	エジプトでは人口の約9割がこの宗教を信仰しており、生活のあらゆる場面で教えが守られています。特に聖地メッカに向かって礼拝を行うことや、一定期間の飲食を断つ断食（ラマダン）などは、信者が果たすべき重要な義務として人々の生活の一部となっています。
問7	答え 4 カカオ	ギニア湾沿岸の地域は高温多湿な気候であり、カカオの栽培に非常に適しています。コートジボワールやガーナなどの国々では、植民地時代に整えられた農園（プランテーション）の仕組みを引き継ぎ、現在も世界有数の生産量を誇っています。これらは国内での消費よりも、日本やヨーロッパなどへの輸出を主な目的として生産されています。
問8	答え 4 かつてこの地域を支配していたヨーロッパの列強諸国が、植民地の境界を人為的に決定したため。	アフリカの多くの国々は、19世紀以降にヨーロッパ諸国の植民地支配を受けました。その際、現地の民族分布や文化的なつながりを考慮せず、列強同士の都合で緯線や経線を利用して境界線を引いたため、現在も直線的な国境が多く残っています。これが独立後の紛争の一因にもなっています。
問9	答え 3 ナイル川の流域で古代文明が栄え、太陽暦が発明された。	説明文にある地理的特徴を持つ国はエジプトです。エジプトは「ナイルのたまもの」と呼ばれるように、大河ナイル川の恩恵を受けて古代文明が発展しました。他の選択肢は、それぞれインド（インダス文明）、中国（中国文明）、メソポタミア（メソポタミア文明）に関する内容であり、地理的条件や文明の特色が異なります。
問10	答え 4 ナイル川とアトラス山脈	アフリカ大陸の北東部には、エジプトなどを經由して地中海に注ぐ世界最長のナイル川が流れています。一方、大陸の北西部、モロッコやアルジェリアなど地中海に面した地域にはアトラス山脈が連なっています。他の選択肢にあるアマゾン川とアンデス山脈は南アメリカ大陸、ミシシッピ川とロッキーマウンテンは北アメリカ大陸、ライン川とアルプス山脈はヨーロッパに位置する地形です。
問11	答え 4 国の主な収入源が原油の輸出であるため、原油の国際価格が下落すると国全体の経済規模や所得が縮小するから。	特定資源の輸出に極度に依存する経済構造では、その資源の価格変動が国全体の輸出額や国家収入に直結します。そのため、原油価格が下落すると国全体のGDPが減少し、結果として1人あたりGDPも大きく落ち込むこととなります。
問12	答え 2 チュニジアの主たる宗教であるイスラム教の伝統的な象徴だから。	チュニジアでは多くの国民がイスラム教を信仰しており、その象徴である三日月と星が国旗に描かれています。古代にはカルタゴが栄えた地域としても知られています。